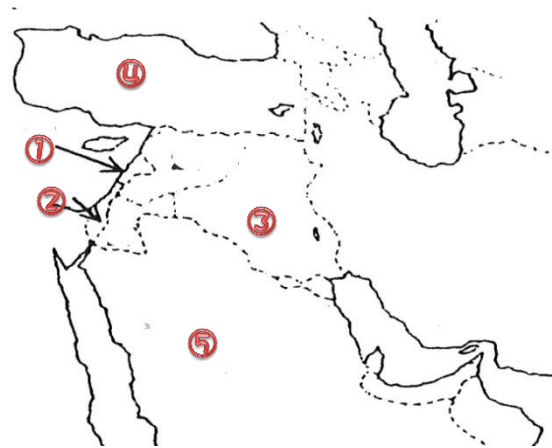


第9講 第一世界大戦後の(戦間期)のアジア・アフリカ

- ① トルコ共和国初代大統領の業績として正しいモノを1つ選べ。
 ①政教一致 ②アラム文字 ③カリフ制廃止 ④ワフド党
- ② オスマン帝国時代に結ばれたローザンヌ条約を破棄して、新たに締結されたロカリス条約で、領土の一部と主権を回復し、トルコ共和国を発足、都をイスタンブールと定めた。 …3点直し
- ③ パルチスタをめぐり密約・宣言に関する組み合わせとして適当なものを選べ。
 ①フセイン＝マクマホン協定 … アラブト ②バイルフォア宣言 … トルコト
 ③サイクス＝ピコ協定 … コダヤト ④ヌイ条約 … 3国分割
- ④ 4つの中東戦争と関係のある用語を起きた順番に並べ替えなさい。
 ①スエズ動乱 ②イスラエル国建国 ③オイル・ショック ④イスラエル占領地拡大
- ⑤ サウジアラビア王国は、イブン＝サウードにより、WW1の直前に建国され、ワッハーブ派を国教とした。
- ⑥ 中東諸国とその委任統治を行った国の組み合わせとして誤っているものを選べ。
 ①イラク = イギリス ②シリア = フランス
 ③レバノン = ロシア ④ヨルダン = イギリス
- ⑦ 右の地図から、フランスの委任統治になった地域を選び、番号で答えよ。
- ⑧ 第一次世界大戦後、イランで成立した新王朝の名を選べ。
 ①サファヴィー朝 ②パフラヴィー朝
 ③サーマーン朝 ④カージャーール朝
- ⑨ アフガニスタンは、1919年のラワルピンディー条約で独立を果たしたが、その旧宗主国はどこであったか、選べ。
 ①ロシア ②フランス ③ドイツ ④イギリス
- ⑩ 1906年に国民会議派が掲げた四大綱領ではないものを1つあげよ。
 ①スワラージ ②英貨排斥 ③真理把握 ④国産品愛用



- ⑪ 19世紀末からのイギリスのインド支配について、次の出来事を年代順に選べよ。
- A:カルクッタ大会 B:英印円卓会議 C:ベンガル分割令
D:第一次非暴力・不服従 E:ラホール大会
- ⑫ イギリスは、WWⅠ後の1919年に、カーボン法を定めて、インドに自治を認めた。
- ⑬ 1920年代後半の民族運動では、ジンナーらインド国民会議派内の若手急進グループが主導権を得て、プー
ルナ=スワラージ(完全独立)を要求した。
- ⑭ ヒन्दゥー教とイスラーム教について、正しい文を1つ選べ。
- ①WWⅠ中～その後、しばらくは、両教徒とも反英を闘った。
②2度の非暴力・不服従とも、両教徒は反英を闘った。
③WWⅡではジンナー率いる全インド=ムスリム連盟はイギリスと戦った。
④1947年に分離独立が決定し、イスラーム教徒はバングラデシュを独立させた。
- ⑮ ガンディーについての用語として誤っているものを1つ選べ。
- ①南アフリカで活躍 ②WWⅠでは対英協力を行った
③1つのインドを提唱した ④過激イスラーム教徒に暗殺された。